

# 神奈川移行教育をすすめる仲間の会

ニュース NO 29 2018.12.12

発行者：「神奈川県移行教育をすすめる仲間の会」運営委員会

TEL 045-228-7704 FAX 045-228-7717

Eメール：[i.kngw@chime.ocn.ne.jp](mailto:i.kngw@chime.ocn.ne.jp)

乞う！  
ご期待

## 学習会&交流・報告

下記の日程で、学習会を行います。多数のご参加お待ちしております。

2019.2.3(日)9:30~15:00

放送大学の活用



小論文の書き方入門(資料代 700円)



講師・永田万紀先生

13時からは小論文の個別相談&交流

## 2年課程通信校受験の要・小論文

うれしい報告  
2名から

仲間の会の学習会に参加された方から、2年課程通信校合格しましたと報告がありました。

5月27日と6月10日の2回の学習会「小論文の書き方入門」(講師・永田万紀先生)に延べ19名の参加がありました。  
永田先生の言葉

試験官は、この人は准看護師ではなく看護師になろうとする、その考え方、今までの自分の看護を振り返ってみて、何をどう考えているんだろうか、そこを読み取ろうとするのではないだろうか？

### ポイント1

自分の思いを相手に分かってもらう文章を書く

自分の看護経験を活かす

### ポイント2

自分の考えを自分の言葉で書く

### ポイント3

キーワードってなんだろう

午後の個別添削は短時間ですが、びっしりと。その後個別に郵送で添削をしてもらいました。

# 夏季集中講座・学習会

## 過去最多 17名の参加者



今年も7月29日に、県立保健福祉大学の先生にご協力いただき、成人・小児・精神・老年・母性の5教科の学習会を行いました。

神奈川県内では、准看護師養成所が事実上募集停止になり、今年度の入学生から、2年課程通信校の入学要件が経験7年になり、ニーズが高く、参加者が多くなったのではないかと推測されます。

参加者は20歳代から50歳代後半と幅広く、参加医療機関もさまざまです。同じ医療機関から複数の参加もあり、お互いにその場であらと顔合わせもありました。別の医療機関から参加、以前のお知り合いと顔合わせで久しぶりと近況報告場面もありました。参加者の勤務形態は2交代、夜勤専従、日勤のみと様々です。

5科目の講義の内容は、それぞれ、夏季集中の中間レポート課題に沿ったもの、国家試験の傾向と対策まで幅広く、細心の看護の課題にも触れていただきました。

参加者は、9:30から18:30と長時間ですが、集中して、熱心に学習しました。

国家試験対策も細かく希望の声もありました。

講師の先生からは「最初の頃より、参加者が増えてニーズも高いですね」の声も聞かれました。

全ての准看護師が看護師に移行できるように学習支援・仲間の会への期待が大きくなっています。



## 全ての准看護師を看護師に

### 11月5日対県交渉



小児医療費窓口負担、国民保険料、医師・看護師等の勤務環境改善など含めた県民要求について、神奈川県保健福祉局との交渉がありました。

は、①看護制度一本化について国に要望する事②県内に2年課程通信校を作る事③新たなお礼奉公にならないよう、県の看護学生奨学金制度の枠を拡大する事(現状は学生定員の1割程度)・2年課程通信含め等について強く要望。

県の対応は①制度問題は国に要望している②県として2年課程通信養成校を作る考えはない。県のパンフに近隣の養成校を紹介している③要望は理解できるが予算枠もあり…その中で希望者が増えるようならば… というコメントでした。重ねて、現状は定員の1割程度、奨学金の要綱で自粛しまう状況であり、新たなお礼奉公?(ニュース28参照)制度を生み出さないためにもより充実をと要望しました。

### 11月15日・政府交渉

日本医労連の厚労省(看護・労働)、文科省、総務省などとの交渉に参加しました。『神奈川移行教育をすすめる仲間の会』としての、この間の取り組み、対県交渉の積み重ね等実態を発言し、特定研修・特定行為以前の問題として、看護制度を1本化・准看護師制度をなくせと強く発言しました。



### 神奈川県奨学金活用!

- ☆2年課程通信養成校入学後に申請
- ☆近隣の養成校に申請について広報
- ☆申請があれば(予算の枠内)対応(現状では足切なし)

- ※他の都道府県で2年課程通信学生除外有(奨学金そのもの見直しの動きも)
- ☆問い合わせは神奈川県に。

☆仲間の会に気軽に相談を